

# 主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部(関支所)
	21004	まちづくり観光推進事業	室名	観光振興室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	会計	01:一般会計
	基本施策	06:まちづくり観光の推進	款	07:商工費
	施策の方向	04:まちづくり観光のマネジメント	項	01:商工費
戦略プロジェクト	02:まち磨きプロジェクト	目	03:観光費	
事業予定期間	H 21 ~ H 28 年度	主な根拠法令要綱等	亀山市観光振興ビジョン、亀山市観光協会への補助金交付基準	

② 目的・概要	対象	地域の魅力に共感する市民及び来訪者
	目的	平成20年度に策定した「亀山市観光振興ビジョン」において、本市の観光は、地域と住民が主体となって、まちを楽しみ、まちで学びながら、地域資源、来訪者満足度、暮らしの環境(定住環境)の三者が調和する「まちづくり観光」を進める。
概要		「まちづくり観光」の考え方にに基づき、コーディネート機能を担い、主体的に事業展開をする亀山市観光協会の運営支援を行い、市内の歴史文化資産・自然・地域特産品など地域の魅力を活かした観光を進めていく。また、地域の多彩な魅力を幅広く発信し、三重県や広域観光組織とも連携しながら、市の魅力や価値を高める活動を進め、一過性に終わらない長期的な観光振興を推進する。

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	概要	○亀山市観光協会の運営支援 ・観光協会の主な事業:観光案内、関宿祇園夏祭りなどの観光イベントの開催、フィルムコミッションの運営、観光情報の発信等	○亀山市観光協会の運営支援 ・観光協会の主な事業:観光案内、関宿祇園夏祭りなどの観光イベントの開催、フィルムコミッションの運営、観光情報の発信等	
		○着地型旅行商品(モデルツアー)の企画、実施 ・モデルツアーの開催 ・まちづくり観光推進アドバイザーの活用	○着地型旅行商品(モデルツアー)の企画、実施 ・モデルツアーの開催 ・まちづくり観光推進アドバイザーの活用	
		○シティプロモーションの実施 ・三重テラスの活用 等	○シティプロモーションの実施 ・三重テラスの活用 等	
	計画額	事業費	21,200千円	20,900千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
		その他		
	予算額	事業費	19,877千円	18,573千円
		国庫支出金		
県支出金				
地方債				
その他				
期間内総事業費(H27・H28)①		42,100千円	42,100千円	
期間外事業費(H29以降)②		0千円	0千円	
総事業費(①+②)		42,100千円	42,100千円	

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)				
④ 指標	①	名称	着地型旅行商品数	活動	計画値	2	4	6
		補足	常時または期間限定で提供できる着地型旅行商品の延数	活動	単位	商品	商品	商品
	②	名称	三重テラスイベント来場者数	成果	計画値	200	200	200
		補足	三重テラスで開催する観光イベント2日間の来場者数	成果	単位	人	人	人
③	名称	三重テラスイベントリピーター数	成果	計画値	10	20	30	
	補足	三重テラスで開催する観光イベントでアンケートを取り亀山市のイベントに参加したことがあると答えた人の数	成果	単位	人	人	人	
④	名称	市外での観光PR回数	成果	計画値	10	10	10	
	補足	市外で実施する観光PR回数。県や他団体が実施するPRイベントへの参加も含む	成果	単位	回	回	回	

# 事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部(関支所)
	21004	まちづくり観光推進事業	室名	観光振興室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計
	基本施策	06:まちづくり観光の推進	務	款
	基本施策の方向	04:まちづくり観光のマネジメント	科	項
戦略プロジェクト	02:まち磨きプロジェクト	目	目	03:観光費

② 目的・概要	対象	地域の魅力に共感する市民及び来訪者
	目的	平成20年度に策定した「亀山市観光振興ビジョン」において、本市の観光は、地域と住民が主体となって、まちを楽しみ、まちで学びながら、地域資源、来訪者満足度、暮らしの環境(定住環境)の三者が調和する「まちづくり観光」を進める。
	概要	「まちづくり観光」の考え方にに基づき、コーディネート機能を担い、主体的に事業展開をする亀山市観光協会の運営支援を行い、市内の歴史文化資産・自然・地域特産品など地域の魅力を活かした観光を進めていく。また、地域の多彩な魅力を幅広く発信し、三重県や広域観光組織とも連携しながら、市の魅力や価値を高める活動を進め、一過性に終わらない長期的な観光振興を推進する。

		27年度		28年度	
①	名称	着地型旅行商品数	計画値	2	4
	補足	常時または期間限定で提供できる着地型旅行商品の延数	実績値	3	3
			単位	商品	商品
②	名称	三重テラスイベント来場者数	計画値	200	200
	補足	三重テラスで開催する観光イベント2日間の来場者数	実績値	600	450
			単位	人	人
③	名称	三重テラスイベントリピーター数	計画値	10	20
	補足	三重テラスで開催する観光イベントでアンケートを取り亀山市のイベントに参加したことがあると答えた人の数	実績値	8	6
			単位	人	人
④	名称	市外での観光PR回数	計画値	10	10
	補足	市外で実施する観光PR回数。県や他団体が実施するPRイベントへの参加も含む	実績値	24	10
			単位	回	回

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○亀山市観光協会の運営支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会の主な事業:観光案内、関宿祇園夏祭りなどの観光イベントの開催、フィルムコミッションの運営、観光情報の発信 等</li> </ul> </li> <li>○着地型旅行商品(モデルツアー)の企画、実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルツアーの開催</li> <li>・まちづくり観光推進アドバイザーの活用</li> </ul> </li> <li>○シティプロモーションの実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重テラスの活用 等</li> </ul> </li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○亀山市観光協会の運営支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会と連携を図り、各種イベント開催支援や観光情報発信を実施。</li> <li>・関宿祇園夏まつり、関宿納涼花火大会、東海道のおひなさま</li> <li>・フィルムコミッション立上げに向けた準備会の開催(ドラマ撮影協力)</li> <li>・ホームページの更新</li> </ul> </li> <li>○着地型旅行商品の企画、実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会の企画運営により3ツアーを実施。</li> <li>・3ツアー 64名参加</li> </ul> </li> <li>○シティプロモーションの実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外にて観光プロモーションを開催。</li> <li>・三重テラス 450名、関西空港 150名、その他8箇所(950名)</li> </ul> </li> </ul>			
	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費	①	2,197	平均給与額×③
	国庫支出金		0		一般職員人件費	②	2,197	
	県支出金		0		所要人員	③	0.30	
	地方債		0		臨時職員人件費	④	0	
	その他		0		受益者負担額	⑤	0	
	一般財源	20,900	18,573	18,573	受益者負担率		0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額		0				
		前年度からの繰越額		0	0			
		総人件費		①	2,197			
	総コスト		⑥	20,770				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	観光協会の主催する各種イベントでは、地域の主体性を尊重し開催したためまちづくり観光に取り組むことができた。また、フィルムコミッションの準備として、各イベント等マスメディアへの宣伝等を積極的に実施したため、集客に繋がった。モデルツアーでは、参加者は減少したものの市外からの来訪者が多数を占め、亀山市の魅力発信に繋がった。シティプロモーションでは、リピーターの獲得には至らなかったが、体験型を中心としたプロモーションを実施したため、集客に繋がりが、有効なプロモーション活動が実施できた。	総合判定
			<b>B</b> まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	イベント開催の効果を最大限に活かすため、各種メディアへの宣伝や広報活動を積極的に実施する必要がある。首都圏や関西圏でのシティプロモーションでは集客は可能であるが、イベントへのリピーターの確保に繋がっていない。
	【改善の方向性】	まちづくり観光のコーディネート役である観光協会の組織・運営基盤を強化し、より効果的なプロモーションができるよう支援する。また、観光プロモーションでは、広域圏ではない近隣県または市外周辺の高速度道路のサービスエリア(道の駅)等より効果的に魅力発信を行う。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 観光振興室長 木田 博人
--------------	---------	-----------------------